

夢に向かって

岱明中学校だより



学校教育目標

郷土に誇りを持ち
夢に向かって挑戦する児童生徒の育成

岱明中学校HP

No. 6

令和3年 10月 15日

文責：上田

●後期も”夢に向かって”

早いもので今年度も後期がスタートしました。3年生がいよいよ受験期を迎えます。今年度は公立の入試日程が早まっており、早めに準備にかかる必要があると考えています。当たり前のことですが 中学校は3年間しかありません。入学したばかりと思っている1年生も卒業は思ったより早くやってきます。3年生では進路を決めなければいけません、1年生2年生も3年生になってからではなく 今の内から家族や友達と将来のことについて少しずつ話題にしてほしいと思っています。そのこともあって例年2年生が全員購入している「進路案内」という冊子の購入について、今年は1年生のご家庭にも紹介させていただきました。そのような冊子を使ってでもいいですし、何か機会をとらえて、軽い話からでもしていただければと思います。お勧めは車に乗っている時です。お互いに前方を見ているので意外と本音が聞けたり言えたりします。お試してください。

後期も生徒が夢を見つけ、夢に向かっていけるよう努めてまいります。

●ひたむきな汗が光る陸上中体連

9月15日、昨年度は実施されなかった玉名荒尾陸上中体連大会が開催されました。さらにその上位入賞者3名は、10月2日の県大会に出場してくれました。コロナ対策もあって今年は陸上部員だけの参加となりましたが以下の人たちが入賞を果たしました。入賞した人も、今回は入賞できなかった人も、ひたむきに走り、跳ぶ姿が心に残っています。岱明中の明るい黄色のユニフォームが一際さわやかに、そして美しく映りました。全ての選手の健闘をねぎらいたいと思います。



<玉名荒尾大会>

- 代表男子走幅跳 1位 藤本くん (県大会出場)
- 代表男子 3000m 6位 案浦くん
- 2年女子 100m 2位 福田さん (県大会出場)
- 2年女子 800m 1位 福島さん (県大会出場)
- 代表女子 800m 6位 西本さん
- 代表女子 1500m 3位 福島さん
- 代表女子 100mH 4位 松下さん
- 代表女子 80mH 6位 松下さん
- 代表女子走幅跳 3位 福田さん
- // 4位 大賀さん



<県大会>

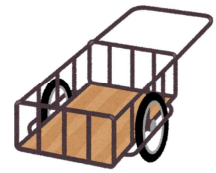
- 代表男子走幅跳 2位 藤本くん
- 2年女子 800m 4位 福島さん



●玉名工業よりリヤカー寄贈

熊日新聞にも掲載され、本校の学校HPにも掲載しましたが、玉名工業高校よりリヤカーを2台寄贈していただきました。玉名工業の生徒の皆さんによる手作りです。本校のリヤカーはかなり老朽化しておりましたので有り難い限りです。さっそく活用しておりますし、今後の除草作業の折にも活躍しそうです。

除草作業と言えば、夏の美化作業はコロナ禍ために中止となりましたが、PTA役員の方々や有志の方々に作業をしていただきました。ありがとうございます。



●うれしい卒業生の活躍

玉名工業といえば昨年度卒業したばかりの木本さんが、「ものづくりコンテスト化学分析の部門で県大会金賞となり、九州大会でも3位になったそうです。そもそも1年生が出場すること自体が珍しいことだそうです。卒業生の活躍はとてもうれしいことですし、生徒たちにとってもいい刺激になります。

●「iPadはそばに置くことすらしない。」

デジタル庁が創設されるなど 情報化の流れはとどまるどころを知りません。しかし、このことが子供に与える影響には心配される面があるのも事実です。



iパッドやiPhoneを世に出した人として有名なスティーブ・ジョブズという人がいますが、新聞記者のインタビューで「自宅の壁はiPadで埋め尽くされているのですか？」という質問に、家には子供がいるからか「iPadはそばに置くことすらしない。」と答え、「スクリーンタイム(画面を見る時間)は厳しく制限している。」と答えたそうです。さすがに開発者だけあって、これらの機器が人間に与える影響を知っていたというのでしょうか。Windowsの生みの親といえば、こちらも有名なビル・ゲイツという人がいますが、子どもには14歳になるまでスマホは持たせなかったそうです。

どちらも「スマホ脳」という本に書かれていました。世界のデジタル化をリードしたふたりですが、我が子の子育てにおいては、デジタル化に慎重だったことがわかります。これらの機器にのめり込んでしまうと、子どもの成長にどんな影響が出るのかを分かっていたのかもしれない。

